

Strike

while the iron is hot.
(鉄は熱いうちに打て)

Triangle

令和3年 7月19日
富江中学校 第6号
校長 山上 福範

教育週間の校長講話



「心を見つめる教育週間」に係る講話の一部を紹介します。教育週間は本県独自に平成16年から始まりました。きっかけは平成15年に「子どもが子どもの命を奪う」という、痛ましい事件が発生したからです。

それまでは、誰もが「命を大切に
するなんて、言われなくても当たり前
のことだ」とか「学校でも家庭でも、
命の大切さは繰り返し言われている
からわかっている」と思っていました。

しかし、事件は起きてしまいました。
そのため、長崎県内のすべての
学校では、教育週間を設けて「命の
大切さ」と「人を思いやることの
大切さ」について、いつも以上に考え
たり、語り合ったりしなければなら
ない必要に迫られたのです。

では「自分の命を大切に
する」とは、どういう行動をとることを
言うのでしょうか？ ご飯を食べる、
睡眠をとる、車に気を付けて登下校
する、階段を降りる時に転げ落ちない
ようにする、泳ぐ時に溺れたり流され
たりしないようにする、料理をする
時に火事にならないように気を付
ける・・・無限にあります。

次に「自分以外の人の命を大切に
する」とは、どういう行動をとるこ
とを言うのでしょうか？ 部活動の時

にぶつからないようにする、危ない
場面にいる幼児に注意したり助けたり
・・・無限にあります。



続いて「人を思いやる」とは、ど
ういう行動をとることを言うのでし
ょうか？ 励ます、讃える、話を聞
く、その人の立場になって考える・
・・・先日、柔道の世界選手権で優勝
した朝比奈沙羅選手が、試合終了後
負傷した相手選手を背中におんぶし
て退場する姿は、まさしく人を思い
やる行動だと言えます。

「命の大切さ」と「人を思いやる
ことの大切さ」に関して、絶対に忘
れないでほしい数字があります。
2019年 29人、その10年前の
2009年 53人、20年前の1999年
72人、30年前の1989年 135人と
いう人数。

実に悲しい、命を落とした人た
ちの人数です。これは全国で出産時
に亡くなった妊婦、つまり母親の
人数なのです。私(校長)が生まれ
た1962年に亡くなった妊婦さん
は1813人、とんでもない人数です。

母親は命がけで子どもを産んで
います。この世に生まれた者全員が、
命がけで産んでもらっているの
です。医療が発達してきたとは言
え、未だに出産時に、出血多量
や脳内出血などで命を落とす妊婦
さんが、残念ながら存在していま
す。



誰もが命は大切だ、人を思いやる

ことは大切だ、とわかってはいても、時には腹が立って悪口を言ったり、ケンカになったりすることもあります。それはそれでかまいません。

しかし、それでも、最終的には、自分も相手も命がけで母親が産んでくれた、かけがえのない一人なんだ、ということは、絶対に忘れないでほしい。



最後に「命の大切さ」と「人を思いやることの大切さ」に関して私を含めた富中全生徒・職員へのミッション(指令)を伝えます。

- ①自分の頭を命を大切にすることに使いなさい。
- ②自分の耳を相手の話をじっくり聞くことに使いなさい。
- ③自分の目を相手のいいところを見つけることに使いなさい。
- ④自分の口を相手をほめたり励ましたりすることに使いなさい。
- ⑤自分の手や足を相手を助けることに使いなさい。

授業の中だけで「命は大切」「人を思いやることは大切」と語って終わるのではなく、日常の生活の中で、言葉や行動に表すことが重要です。

伝える力の育成 7/13(火)

富中では「目的に対して必要な情報を収集、整理・分析し、自分の考えを相手にわかるように伝えることができる力」を育成する研究を続けています。

その一環として、教育委員会や富江小、盈進小、中学校の数学科教員を招いて、研究授業を行いました。

授業はコロナ感染症予防のため、体育館で実施しました。



授業後は、よりよい授業の展開をめざして協議を行いました。



星に願いを

生徒会が中心となり、各学年で七夕飾りを行いました。どんな願い事をしたのか・・・ご家庭でお尋ねください。



夏の交通安全運動 7/14~20

自分の命を守るため、危険を予知しながら行動しましょう。歩行中、自転車運転中は要注意です。夏休みには、水の事故にも要注意!